

市の決算をチェック！

令和5年度の決算を審査



令和5年度の決算認定議案が8月定例会に提出され、「決算書」や「主要な施策の成果を説明する書類」などの資料に基づいて、慎重に審査を行い、賛成多数で認定しました。

決算の認定とは

議会の重要な役割の一つに、「決算の認定」があります。「決算」とは、歳入歳出予算に基づく収入と支出の結果を内訳とともに明らかにすることです。議会は、市長から提出のあった決算書等の書類について、住民の代表として審査を行います。

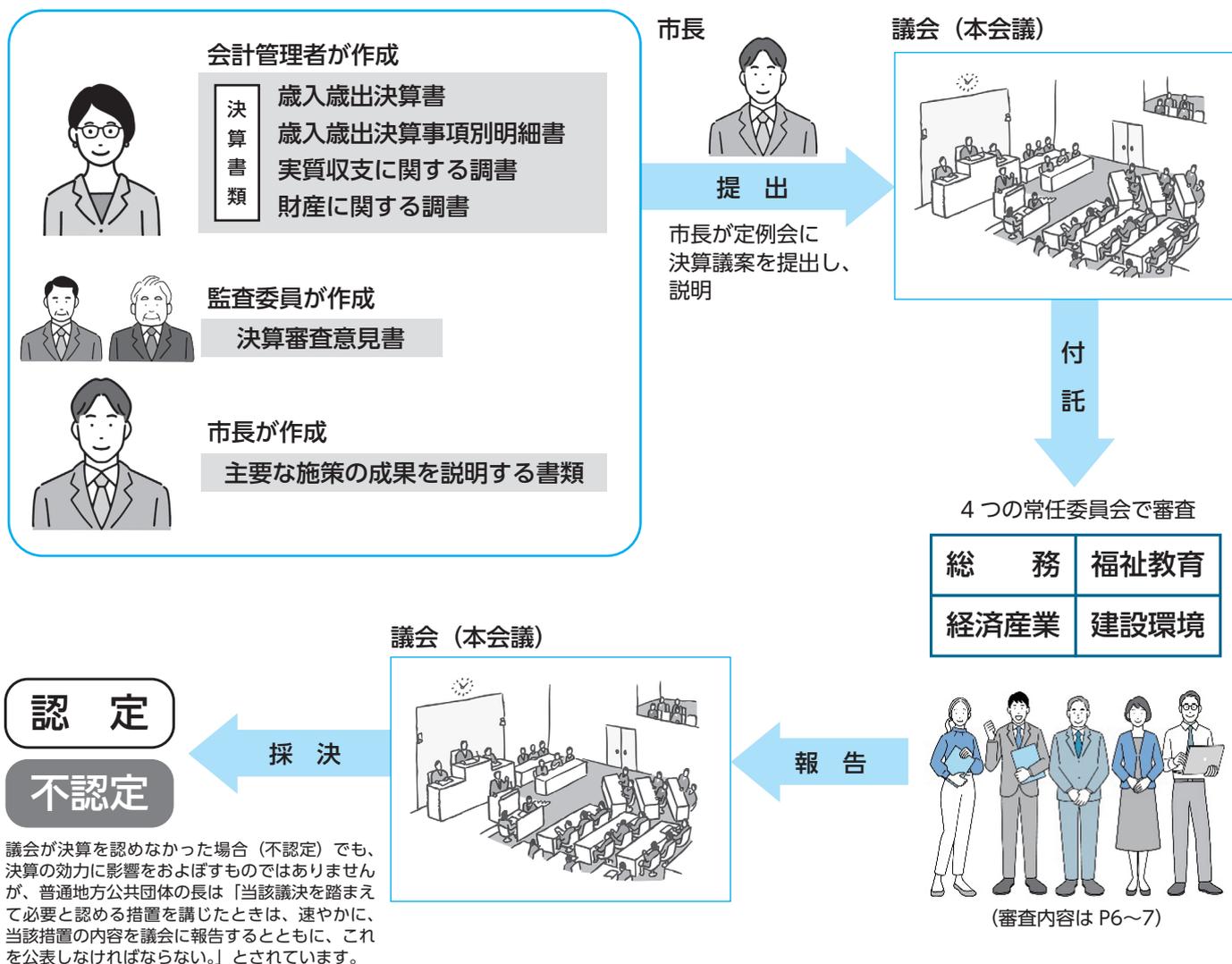
審査のポイント

- ・収入確保の努力が適正になされたか。
- ・支出が議決した趣旨と目的どおりに、適正になされたか。効率的に執行され、目的が達成されたか。

このような視点から、審査においては、次年度予算に向け改善すべき点などについてさまざまな意見が出されました。

決算審査は、今後の市の行財政運営の健全化と適正化のために重要な役割を果たしています。

決算審査の流れ



一般会計

歳入 1,150億5,522万円 ※ 歳入には、基金からの繰入金39億2,478万円を含む。

歳出 1,130億5,548万円

民生費 498億8,251万円 社会福祉、高齢福祉、児童福祉などに	総務費 128億433万円 市役所の管理、運営、広報などに	教育費 100億7,936万円 学校、幼稚園、社会教育などに
衛生費 96億8,771万円 保健衛生、ごみ、し尿処理などに	公債費 95億606万円 市債の元金償還と利子の支払いなどに	土木費 79億640万円 道路、公園、河川の維持管理などに
農林水産業費 43億3,592万円 農林水産業の振興などに	消防費 39億7,126万円 消防、救急、防災活動などに	商工費 30億3,914万円 商工業・観光の振興などに
災害復旧費 12億1,404万円 災害により受けた被害の復旧などに	議会費 5億6,672万円 市議会の運営などに	労働費 6,202万円 労働政策などに

翌年度へ繰り越すべき財源 7億9,087万円

実質収支 12億886万円

議会費 5億6,672万円の内訳

〈主な項目と決算額〉

- ▶ 議員人件費(報酬・期末手当)……………3億8,922万円
- ▶ 一般職人件費(議会事務局職員)……………1億920万円
- ▶ 政務活動経費……………1,834万円
- ▶ 議会だよりの作成……………853万円
- ▶ 費用弁償(行政視察旅費)……………716万円

特別会計

一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して処理するための会計を**特別会計**と言います。佐賀市には、3つの特別会計があります。

会計	歳入	歳出	差引
国民健康保険	265億822万円	264億732万円	1億89万円
国民健康保険診療所	1億1,709万円	1億1,709万円	—
後期高齢者医療	38億8,658万円	37億9,402万円	9,255万円

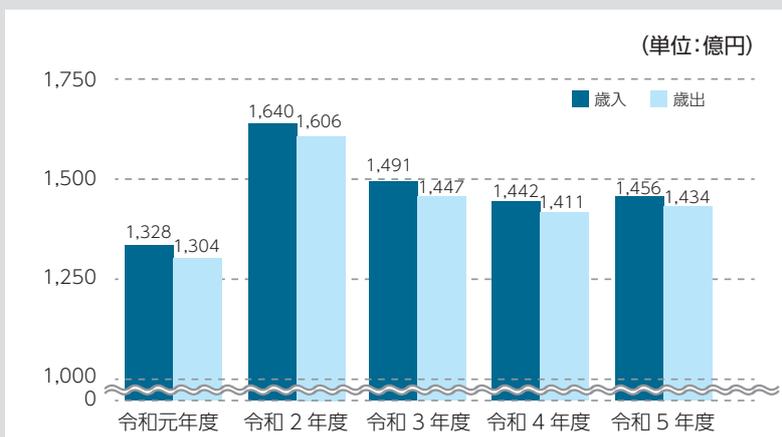
※ 国民健康保険特別会計の歳入には、一般会計からの繰入金20億2524万円を含む。

※ 国民健康保険診療所特別会計の歳入には、一般会計からの繰入金3,735万円を含む。

※ 後期高齢者医療特別会計の歳入には、一般会計からの繰入金9億6,153万円を含む。



一般会計と特別会計の
総計決算額の推移



企業会計

地方公営企業法の全部または一部が適用される公営企業の会計を企業会計と言います。佐賀市には、5つの企業会計があります。

自動車運送事業(市営バス)

収益的収支	事業収益	11億4,500万円
	事業費	11億2,413万円
	差引	2,086万円
	純利益	863万円
資本的収支	資本的収入	3,420万円
	資本的支出	1億985万円
	差引	△7,564万円

・事業収益および資本的収入には、一般会計からの繰入金2億9,118万円を含む。
 ・資本的収支の不足額7,564万円は、※1 損益勘定留保資金等により補填した。

令和5年度 市営バスの状況

- ・保有台数……………73台
- ・実車走行距離…約233万km
- ・総輸送人員…………約358万人
- ・1日平均輸送人員…9,804人



水道事業

収益的収支	事業収益	46億2,110万円
	事業費	40億1,434万円
	差引	6億675万円
	純利益	4億4,384万円
資本的収支	資本的収入	11億8,620万円
	資本的支出	26億1,992万円
	翌年度へ繰越すべき財源	63万円
	差引	△14億3,435万円

・事業収益および資本的収入には、一般会計からの繰入金2,925万円を含む。
 ・資本的収支の不足額14億3,435万円は、損益勘定留保資金等により補填した。

下水道事業

収益的収支	事業収益	79億6,813万円
	事業費	77億2,812万円
	差引	2億4,001万円
	純利益	1億832万円
資本的収支	資本的収入	62億6,268万円
	資本的支出	75億9,613万円
	翌年度へ繰越すべき財源	2億3,895万円
	差引	△15億7,240万円

・事業収益および資本的収入には、一般会計からの繰入金28億4,358万円を含む。
 ・資本的収支の不足額15億7,240万円は、損益勘定留保資金等により補填した。

工業用水道事業

収益的収支	事業収益	1,504万円
	事業費	1,093万円
	差引	410万円
	純利益	143万円
資本的収支	資本的収入	3,844万円
	資本的支出	4,332万円
	差引	△488万円

・事業収益および資本的収入には、一般会計からの繰入金1,828万円を含む。
 ・資本的収支の不足額488万円は、減価積立金等により補填した。

令和5年度 水道事業の状況

- 給水戸数……………99,637戸
- 年間総給水量…………21,829,669 m³
- 1日平均給水量…………59,644 m³



令和5年度 下水道事業の状況

- 水洗化戸数……………85,233戸
- 年間総処理水量…………23,804,806 m³
- 1日平均処理水量…………65,041 m³



富士大和温泉病院事業

収益的収支	病院事業収益	12億6888万円
	病院事業費	14億151万円
	差引	△1億3262万円
	純利益	△1億6048万円
資本的収支	資本的収入	2億2076万円
	資本的支出	3億2180万円
	差引	△1億104万円

・病院事業収益および資本的収入には、一般会計からの繰入金3億2,771万円を含む。
 ・資本的収支の不足額1億104万円は、損益勘定留保資金等により補填した。

令和5年度 富士大和温泉病院の状況

- 病床数……………98床
- 入院患者取扱数…………15,436人
- 外来患者取扱数…………32,771人



(金額は端数処理をしていますので、合計額が合わない場合があります。)

※1 損益勘定留保資金…現金の支出を伴わない減価償却費などの企業内部に留保される自己資金のこと。